

車いすバスケの体けんが、学んたこと

伊勢原市立比々夕小学校

振原 恵仁

ぼくは、夏休みに車いすバスケの体けんを
しました。おしるこくあた人は、しよ南ス
ポーツクラブ車いすバスケトボールぶのせ
ん手です。その中の一人が、ぎ足をつけてい
ました。と中でぎ足をとってずしよしていま
した。楽しそうにプレイしているのを見て、
今まで足がない人や足が一つがない人のこと
を、かあいそうだ。と思、ていた気もちが
かりました。

休けい時間に姉とい、しよに、ぎ足のせん
手に話を聞きに行きました。さいしよは、車
いすバスケをやや、てみたかんそうやなら
いごこのことなどを話していました。そのう
ちに、自分の足について話してくれました。
中学校三年生のときにびよう気が見つか、て
足を切たんするかの、いのちをうしなうか。
をけつたんじなければならなかつたそうです。

あらって話してくれただけで、自分がその立
場だ。たら、あらって話せるかあかりません。
ぼくは、このせん手のことを「すごい人だ。な
」つよい気持ちももった人だ。な」と思いまし
た。

車いすバスケットは、ふっうのバスケットル
加ほとんど同じと知っておどろきました。し
よがいのある人用のルールがあると思っ
いたからです。きょうぎ用の車いすのつくり
にもおどろきました。ふっうの車いすとちが

て思い切りプレイできるよりにな
ていま
した。しょうかいのある。なしにかんけいな
く、スポーツができるというこはいろんな
人の気持ちも大いにしていると思えます。

ぼくは、しょうかいのある人やパラスポ
ツについてかたよった見方をしていま
でも、車いすバスケットの体けん
とせん手の交
りやりをとおして見方がありま
した。つど

んな人でもスポーツを楽しめる社
会がどん
んひろがっていくといいな
。と思っ
ていま